



▲ザ・シャードの清掃をしているプリンシプル・クリーニング・サービス社にて



▲説明するクック社長



▲出発前の羽田空港にて



▲ザ・シャード外観



▲ザ・シャード内を視察

第43回海外研修視察報告



イギリス 欧州一の高さを誇るザ・シャードと
オリンピックレガシー等の視察を終えて無事帰国

第43回海外研修視察団は、平成28年11月9日から15日の7日間、イギリスのザ・シャード、クイーンエリザベスオリンピックパーク、バース、ウィンザー城、ストーンヘンジなど、新旧様々な建造物の視察を行い、見聞を広めました。

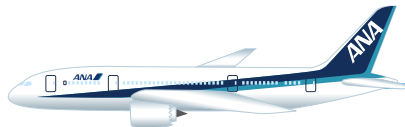
ザ・シャード視察

欧州一の高さを誇る超高層ビル「The Shard (ザ・シャード)」は、全面ガラス張りのきれいなビルである。今回の視察ではザ・シャードの清掃を行っている会社である Principle Cleaning Services (プリンシプル・クリーニング・サービス) 社の社長 Douglas Cooke (ダグラス・クック) 氏による、イギリスの清掃業の現状や自社が行っているメンテナンス方法等について、座学にて教わりました。

ザ・シャードに到着して最初に感じたのは、セキュリティ意識の高さでした。ビルに入館する際に、ICカードを渡され、その後、手荷物検査と金属探知機にてチェックを受けました。日本とは違い、テロ対策の一環として、常に警戒を怠りません。

その後、社長のプレゼンテーションを受けながら、日本と似ている部分や違う部分について多数知ることが出来ました。

例えば、人材活用に関しては、イギリスでは当たり前のように多国籍の人材を雇用しています。社内公用語が英語であるため、英語が苦手な従業員に対しての英語学習の研修も行っているとのことでした。また、ザ・シャードの清掃作業は正社員のみで行っています。正社員として雇用し、チームでの作業を行うことで離職率を下げます。離職率が下がることで、チームの意識



■ Data

実施日：平成 28 年 11 月 9 日（水）～ 15 日（火）

視察先：イギリス（ロンドン、バース、ストーンヘンジ、ウィンザー城）

参加者：23 名（事務局及び旅行代理店添乗員含む）



▲バース



▲ストーンヘンジ



▲ウィンザー城



▲今はマンションの旧選手村



▲オリンピックパークの施設（上段と下段の左右）

2020 年の東京五輪に向け、2012 年夏開催されたロンドン五輪の成功例を知るため、オリンピックレガシーであるクイーン・エリザベス・オリンピックパークへ視察に行きました。

オリンピックパークはロンドン東部のストラトフォード地区にあり、200 軒を超える広大な敷地を有しています。メインスタジアム等の施設は現在

クイーン・エリザベス・オリンピックパーク等視察

座学の後、視察団の梶山団長から感謝のあいさつがあり、写真撮影を行いました。その後、展望エリアを見学させていただきましたが、展望エリアに入る際に、再度手荷物検査と金属探知機のチェックを受け、改めて防犯意識の高さに驚きました。

ザ・シャードで働いている誇り、清掃作業の技術の向上などから高品質な仕事に繋がり、テナントの満足度も向上させています。また、人材の採用についても日本との相違がみられました。同社では、雇用する前に雇用予定の人材の身辺調査も行っており、高い防犯意識を持っていることがわかりました。

人材活用以外にも、清掃器具について、コードレス化や静音化を進めていることや、一度に使用している水や電気量、作業にかかる時間などもデータとして蓄積し、改善を進めていること。清掃ロボットの活用や環境配慮に関する ISO の取得なども行っていました。

今後、東京協会の海外研修視察事業は継続予定でございますので、次回の視察ではより多くの皆様にご参加いただけるよう事務局として鋭意努力してまいりますので、よろしくお願いたします。（文責：事務局 森 雄樹）

最後に 今回のイギリス視察が滞りなく無事に終了できましたことは、視察団団長の梶山龍誠様（協会理事）や副団長の二宮保仁様をはじめ、団員の皆様のご協力によるものでございます。また、添乗員の川尻能己様にも大変お世話になりました。私自身、初めての海外で緊張や不安がありましたが、皆様のおかげで大変有意義な視察となり、海外の文化や魅力を感じることが出来ました。

その他にも、世界遺産であるバース遺跡、ストーンヘンジやウィンザー城の視察も行いました。バース遺跡では、古くから残る遺跡と、現在の街並みとを共存させる手法を学び、ストーンヘンジでは広大な大地と神秘に触れ、ウィンザー城ではイギリス王族の歴史や文化を知ることが出来ました。

も使用されており、選手村はマンションとして活用されています。

元々、この土地は閑散とした地域でしたが、五輪誘致に併せて再開発を行い、ショッピングモールやマンション建築などを進めていました。東京五輪でも施設の有効活用ができるような仕組みづくりが行われることを願います。